



スマイル&
チャレンジ

新堀小だより

4月号

令和5年4月10日発行

元気いっぱい 夢いっぱい みんなが輝く新堀小学校
新堀小3つの約束「心のこもったあいさつ 時を守る みんな仲よく」

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-shinbori/>



入学・進級おめでとうございます！



校長 若林 寿

【はじめに】

本日、85名の新入生を迎え、児童数453名、18学級（たんぽぽ2学級）で令和5年度のスタートを切りました。また、本校は創立50年目、昨年度までに3,788名の卒業生を送り出しております。これまで諸先輩方や地域の皆様に育まれてきた伝統を大切にして、新しい新堀小学校の歴史を創ってまいります。

さて、本年度も新堀小は、めざす学校を「未来の社会を生き抜く力の基礎を築く学校」とし、グローバル人材の育成と情報化への対応(ミッション)に力を入れて取り組んで参ります。そして、子どもたちについては*スマイル&チャレンジを合い言葉に、学習に運動に力いっぱい取り組み、「夢・自信・誇りを持ち、主体的に行動する子（めざす児童）」に育てたいと願っています。昨年度から、このミッションのもと、パートナーズスクール クリスマンアカデミー イン ジャパンとの交流学习、西堀新堀コミュニティセンターとのコラボレーション等、地域社会と連携した新たなカリキュラム開発や様々な行事を模索しながら教育活動を実施しています。ミッションは、めざす学校に直結しています。また、ミッションは本校の強みでもあります。普段の授業に加え、課外授業や交流学习、そして行事で、本校の強みを加味した教育をめざし、児童が学ぶ楽しさと本校で学ぶ喜びを実感できる授業づくりを目指していきたいと思っております。本年度も、コロナ禍を越えて、「安心・安全で学びたい 学ばせたい開かれた学校づくり」に、保護者・地域の皆様とともにチャレンジしていきたいと考えています。どうぞ本年度もよろしくお願いいたします。

家庭にお願いすること

- 1 早寝早起き朝ごはん(生活習慣)
- 2 毎日のあいさつ
- 3 正しい言葉遣い
- 4 家庭学習の習慣
- 5 学習の準備
- 6 読書の習慣
- 7 家での役割(手伝い)
- 8 「褒める」「ありがとう」等の言葉かけ



【CAJとの感動体験】

4月3日・4日、CAJとの交換留学体験が行われました。私も行って来ました。CAJにはたくさんの大きなさくらの木があり、中庭は花びらの絨毯のようになっていてとても素敵でした。2日間で24名の児童がお世話になりました。子供たちは、異文化、そしてオールイングリッシュの環境に、少し緊張していましたが、スマイル&チャレンジで頑張っていました。私を見ると笑顔で手を振って、駆け寄って来て、今日あったことをとめどなく話してくれた子もいました。「私、この学校に通う。」とお母さんをお願いしている子もいました。「楽しかった。」「友達ができた。」etc、どの子もいい経験が出来たことが伝わって来ました。CAJの児童も、私をお父さんと間違えて、「お父さんですか。〇〇さんとお友達になりました。僕は英語、日本語、中国語が話せます。よろしくおねがいします。」と話しかけてくる子や、「新堀小学校の体験入学に絶対行きたいです。校長先生、お願いします。」とお願いしてくる子もいました。CAJの児童にとっても、特別な日となっていたようです。本校だけではできない感動体験です。6月は本校が受け入れをします。双方の児童にとって将来に渡るよい経験となることを期待しています。保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝いたします。

【最後に】

また、この時期になるとシカゴで新たなスタートを切ったときの自分のことを思い出します。シカゴ日本人学校に着任したのは、ちょうど令和という時代がスタートするときでした。『「美しく心を寄せ合う中で文化を育てていく。一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。」令和という年号、時代には、このような素敵な意味や人・社会への思いが込められています。保護者、地域社会の皆さんと連携し、更に素晴らしい学校となるように、このシカゴの地で、精一杯頑張ります。』と挨拶したことを覚えています。コロナ禍となり、令和に込められた思いを忘れていました。今年度はコロナ禍を越えて、このシンボリの地で令和の思いの実現に向けて大きく進んで行くことを切に願います。令和5年度、よろしくお願いいたします。We look to the future now!